

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 583 号	氏名	江藤 康平
学位審査委員	主 査	副 査	副 査
		畑山 範	尾野村 治
			田中 正一
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、医薬開発に繋がる天然物合成の研究分野で注目を集めているオキサゾロマイシン天然物の中からオキサゾロマイシン A とラジヨラマイシンを合成標的として取り上げ、オキサゾロマイシン天然物の効率的一般合成法を開発しようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>本合成研究をとおして、インジウムトリフラート触媒 Conia-エン反応、高ジアステレオ選択的なジヒドロキシル化、野崎-檜山-岸反応を経る右セグメントの合成、キニジン誘導体を触媒とする不斉β-ラクトン合成、Stilleカップリングを経る左セグメントの合成、そして両セグメントの連結からなるオキサゾロマイシン天然物の一般合成法となる収束的方法論を開発した。よって、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で合成研究を行った結果、オキサゾロマイシン A の初の全合成とラジヨラマイシンの右セグメントの合成にそれぞれ成功するとともに、これまで不明であった本天然物の 16 位の絶対配置を決定し、今後のこれら天然物に基づく医薬開発研究の進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は薬学の有機合成研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（薬学）の学位に値するものと判断した。</p>			